

団体名:ハピサン Books

活動名:本と一緒にコミュニティスペース作り

日時:令和3年 11月3日(水) 10時00分 ~ 15時00分

日時:令和4年 2月7日(月) 10時00分 ~

場所:ハピサンハウス

◆◆団体の紹介◆◆

古民家を改装した「ハピサンハウス」という名のコミュニティスペースを拠点とし、本というツールを介して子供たちが伸び伸びと楽しめるようなイベント等を開催。

また定期的に図書館などを開催することにより、本の貸し出しも可能にし、近所だけでなく大人も子どもも人との触れ合いを育める場の提供とコミュニティを創り出すことを目的とした団体。



◆◆活動の内容◆◆



この活動のメインでもある移動図書館に使える本箱の作成をするワークショップを SNS で募集をしたところ、すぐに定員が埋まってしまったほどの盛況ぶり。もともとハピサンを知っていた人だけでなく、前から気になっていた人や人づてに聞いた人など、コミュニティが広がっているのを感じます。

6家族で20名くらいが参加し、ママ達も慣れない日曜大工に大苦戦しながら、出来てくる棚に子供が乗っかかりして微笑ましい光景があちこちで繰り返されていました。

もう一つはメインイベントの BOOK カフェ。自由参加の定期開催図書ワークショップという形で定期的に行われていましたが、コロナの広がりを受けて開催回数が減りはしましたが、参加者の中にはハピサンのファンも多く、SNS で周知すると待っていた人達がやってきます。



この日も寒い中でしたが開放的なハピサンハウスの部屋の中には赤ちゃんや小さなお子様連れのお母さんたちが何人か参加していました。

密を避けるためにハウスに入る人数も制限。新たにきた人がいると最初から居た人が帰る入替方式で、参加者の中の方はいい感じに連携が出来上がっていました。庭では今回主催のハピサンのメンバーがこれまでの活動のことや、今後の活動について自分達がやっていきたいことなどを熱く語ってくれました。

今後もみんなの居場所が作れて、呼続の中で活動できる場所を探している事、資金も集めながら自費を使うことなく潤滑に活動していけるような仕組み作りができる事が理想。

ハピサンハウスのお庭に広がる暖かく穏やかな時間と、メンバーの人柄に今後も頑張って活動を継続していけるようなアドバイスが出来たらと思いました。